

研究科横断型講義 B タイプ授業シラバス

科学技術と社会に関わるクリティカルシンキング (critical thinking on science, technology and society)

時間・場所 火曜5限 教育学部第7演習室 (総合研究2号館地階)

5/14,5/28,6/11,6/25,,7/9, 7/23

担当教員 伊勢田哲治

メール

オフィス

オフィスパワー

授業の目的

伊勢田ほか編『科学技術をよく考える』をテキストとして、科学技術と社会の接点で生じるさまざまな問題についてディスカッションを行い、多面的な思考法と、思考の整理術を学んでいく。目標は、クリティカルシンキング (CT)という考え方について知り、CT のいくつかの基本的なテクニックを身につけること、科学技術社会論の概念を学び、それを使って議論ができるようになること、である。

教科書

伊勢田哲治ほか編『科学技術をよく考える クリティカルシンキング練習帳』(名古屋大学出版会、2013)
授業内で著者割引で販売いたします。

学修証授与の条件

3分の2以上の出席と積極的な授業参加

授業の概要

テキストは10のテーマから構成されているが、本授業ではそのうち3つをとりあげてを予定している。実際に何についてディスカッションするかは受講者の興味も踏まえて決定するが、候補となるのはたとえば以下のようなものである。

- ・ 遺伝子組み換え作物
- ・ 脳科学の実用化
- ・ 血液型性格判断
- ・ 宇宙開発への公的投資
- ・ 原爆投下の是非を論じること自体の正当性

これらのトピックとあわせて学ぶスキル・知識としては、

- ・ 議論の特定
- ・ 暗黙の前提の特定
- ・ 社会的 CT
- ・ 四分割表
- ・ メタ CT
- ・ 予防原則
- ・ リスクコミュニケーション

などを予定している。